

# 2014年12月期決算説明会



コスモ・バイオ株式会社

(証券コード:3386)

2015.2.17

www.cosmobio.co.jp



Copyright© 2015 COSMO BIO CO.,LTD. All Rights Reserved.

1

## 目次



人と科学のステキな未来へ  
コスモ・バイオ株式会社

1. 会社概要と事業の内容・・・・・・・・・・・・・・・・ p.3
2. 2014年事業環境の概要・・・・・・・・・・・・ p.9
3. 2014年12月期決算の概要・・・・・・・・・・・・ p.13
4. 2015年の取り組み及び業績予想・・・・・・ p.25

Copyright© 2015 COSMO BIO CO.,LTD. All Rights Reserved.

2

# 1. 会社概要と事業の内容

www.cosmobio.co.jp

Copyright© 2015 COSMO BIO CO.,LTD. All Rights Reserved.

3

## 会社概要

人と科学のステキな未来へ  
コスモ・バイオ株式会社

社名:	コスモ・バイオ株式会社	
業種:	卸売業	
上場市場:	東京証券取引所JASDAQ	
コード:	3386	
本社所在地:	東京都江東区東陽二丁目2番20号	
代表者:	代表取締役社長 笠松 敏明	
設立:	1983年8月25日	
事業内容:	ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、臨床検査薬の仕入れ(一部自社製造)及び国内・海外販売	
資本金:	918百万円	
事業年度:	1月1日から12月31日まで	
従業員数:	連結:125名 個別:92名 (2014年12月31日現在)	
連結子会社:	ビーエム機器株式会社	
非連結子会社:	Cosmo Bio USA, Inc.	

Copyright© 2015 COSMO BIO CO.,LTD. All Rights Reserved.

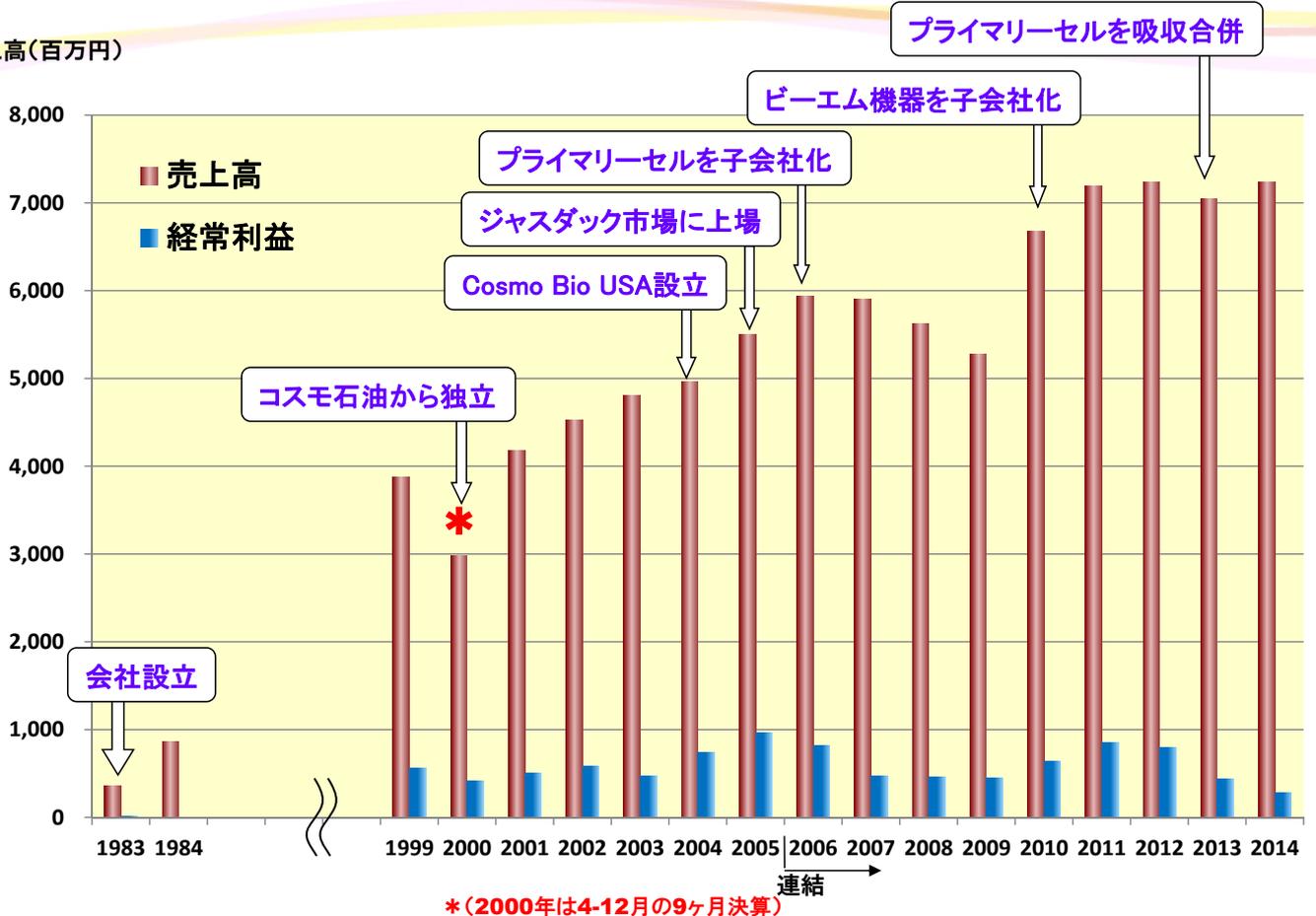
4

# ライフサイエンス研究を支援する専門商社

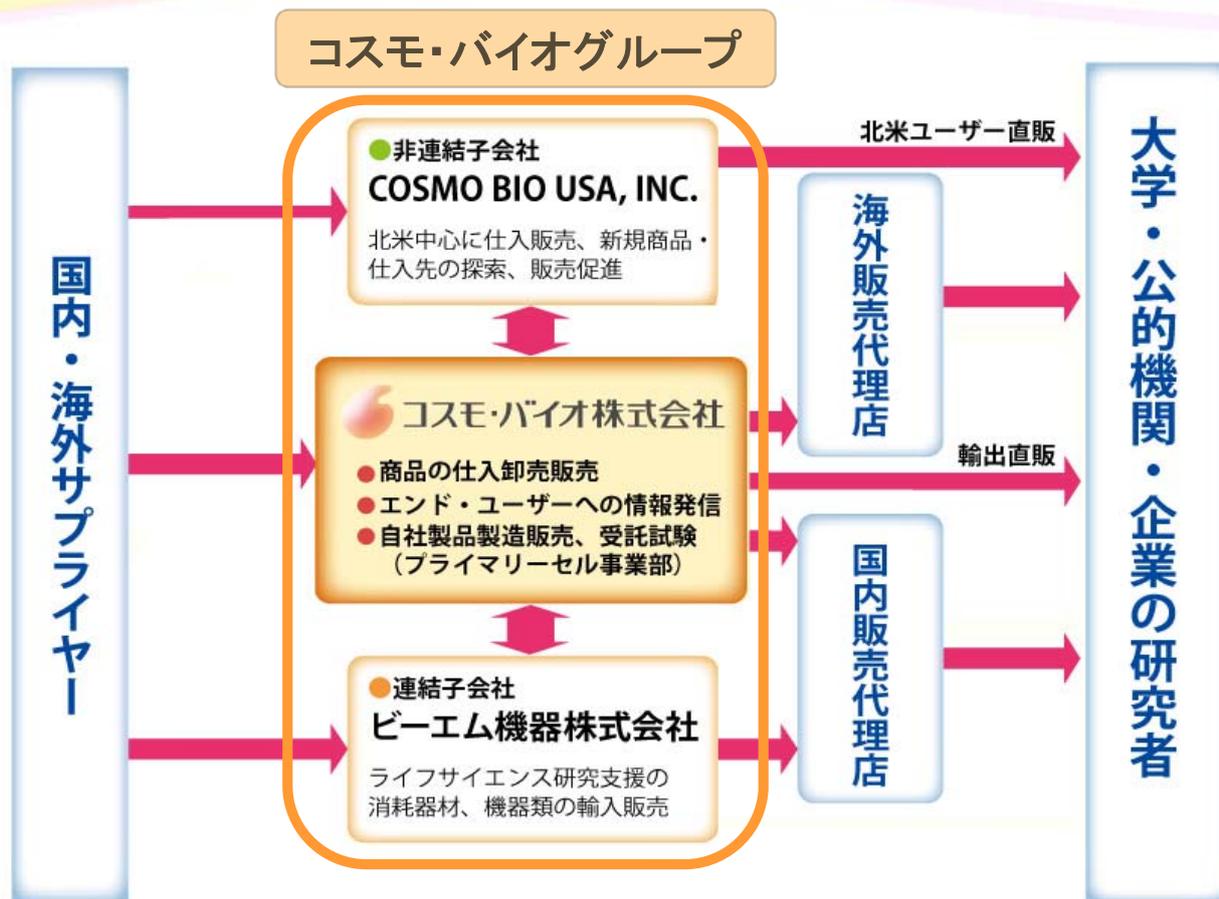


## 当社の歩み

売上高(百万円)



## 「世界のライフサイエンス研究を支援する専門商社」

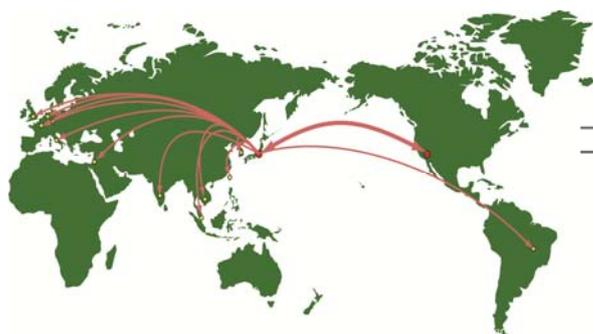


# グローバルネットワーク

約**640**社の仕入網



28拠点の海外販売網



約**200**拠点の国内代理店網



コスモ・バイオ株式会社

## 2. 2014年事業環境の概要

www.cosmobio.co.jp

### 2014年事業環境について

#### ライフサイエンス研究市場動向

- ・基礎研究市場においては活発さを欠いた状況
- ・特に大学・公的研究機関においては慎重な予算執行の傾向が依然として続いている

#### 競合他社

- ・市場の伸び悩みに伴い、シェア獲得のための販売競争が激化

#### 為替相場

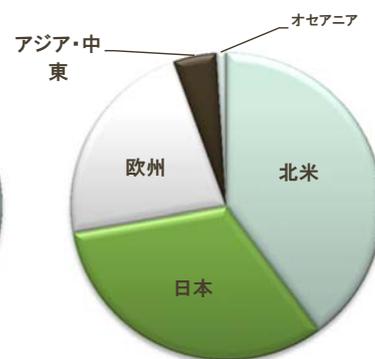
為替変動により利益に影響  
(円安により仕入原価高に)

2014年予想	105円/ドル
2014年実績	106円/ドル
(2013年実績)	96円/ドル)

【支払通貨】



【仕入先分布】



# ライフサイエンス研究市場動向

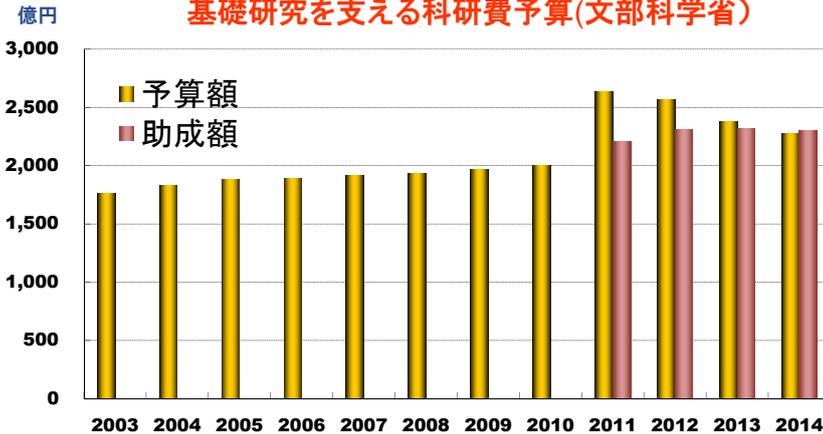
## 大学・公的研究機関

2014年度科研費の助成額は2,305億円であり、前年比13億円の減少であった。特に大学では、消費税率引き上げによる研究材料費・光熱費などの高騰の影響もあって、研究費の消費動向は厳しい状況であった。

## 企業

一定の需要はあるものの、研究開発拠点の集約や海外シフト等により市場は微増から横ばい傾向が継続。

基礎研究を支える科研費予算(文部科学省)

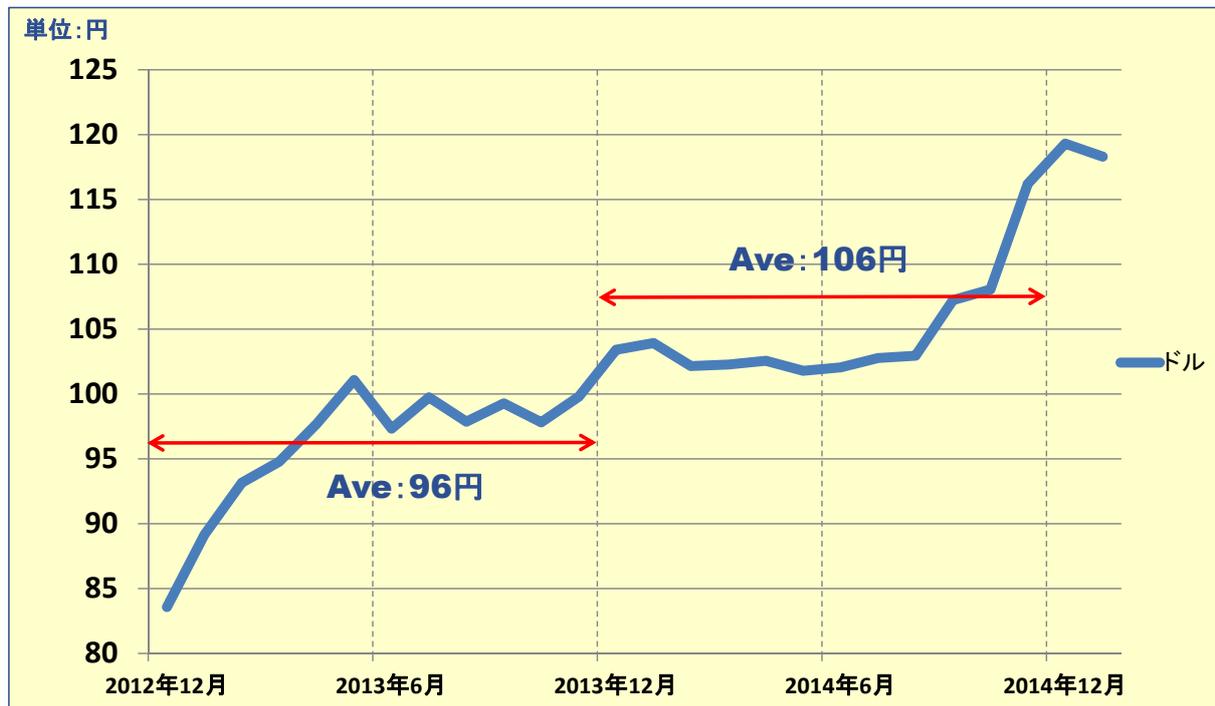


2011年度より、研究費の複数年度基金化が開始。  
2014年度は、助成額が前年から13億円減額に。

日本学術振興会ホームページより  
※2011年度から一部種目について基金化を導入したことにより、予算額が当該年度の助成額を表さなくなった。そのため、当該年度に助成する金額を「助成額」として、予算額とは別に表記している(グラフ赤色)。

# 為替相場

・2014年上半期の相場は動きも少なく横ばいだったが、下半期には日銀の金融緩和の影響で大きく円安に推移。



### 3. 2014年12月期決算の概要

www.cosmobio.co.jp

2014年の取り組みについて  
「成長と信頼の研究支援会社の実現」

顧客満足度の追求

業容の拡大

経営基盤の安定化

#### ① 仕入先との連携による在庫施策

⇒ 2014年2月、Proteintech社と**日本国内独占販売**契約を締結

・業務提携により日本国内における同社の抗体製品を当社が管理することで、研究者への納期短縮とともに受注増を確立



#### ② 自社製品の積極的な開発・販売

有望自社製品の上市

- ・i-MyRun II(機器)
- ・抗糖化アッセイキットシリーズ(試薬)
- その他多数



「i-MyRun II」電気泳動装置  
2014年11月発売

2014年の取り組みについて  
「成長と信頼の研究支援会社の実現」

顧客満足度の追求

業務の拡大

経営基盤の安定化

③ 海外販売の拡大・強化

- ・カタルーニア・ハンガリーにおいて新規代理店の採用
- ・売上高 **前年比4割増を達成!**

④ 顧客満足度の追求を目指した活動

研究者向け「顧客満足度アンケート」、代理店向け・社内向け「業務改善アンケート」を実施

⑤ 次期基幹システムの選定

業務効率化の向上として、グループ会社で基幹システム統一を決定

- ・SAP® Business Suite powered by SAP HANAを採用

⑥ 法令対応の強化

取扱い商品の拡大に伴い、関連法令に対応する専任部署を整備

2014年の取り組みについて  
「成長と信頼の研究支援会社の実現」

社会貢献活動

『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界の化学・生物実験～抗原抗体反応』  
和歌山工業高等専門学校

【本年度に開催された講座の一例】

米国科学振興協会(AAAS)が発行する研究者のためのオンラインジャーナル“Science Signaling”の日本語サイトを当社ウェブ上で運営しています

『iGEM生物ロボットコンテスト』

参加日本チームへの支援

米国マサチューセッツ工科大学で毎年行われている「生物ロボット」コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています



2014年は9チームを応援しました。部門別ではTokyo Tech(東工大チーム)が、Information Processing部門で、見事、最優秀賞に輝きました。

『Science Signaling』



## 連結業績ハイライト

### 売上高

【予算比】

0.8%

【前年比】

2.6%

基礎研究関連の試薬・機器市場の動きは、全体的に活発でなく、特に大学、公的研究機関においては、依然慎重な予算執行の傾向が続いている。それに伴い、シェア獲得のための販売競争が激化。

### 純利益

【予算比】

24.4%

【前年比】

35.6%

当期ドル/円為替レートは、下半期の急激な円安により平均106円。前年平均96円に比べ10円の円安。前年に引続き、仕入原価の上昇。

\* 予算比は8/7発表の業績予想修正数値より算定しております。

## 連結損益計算書

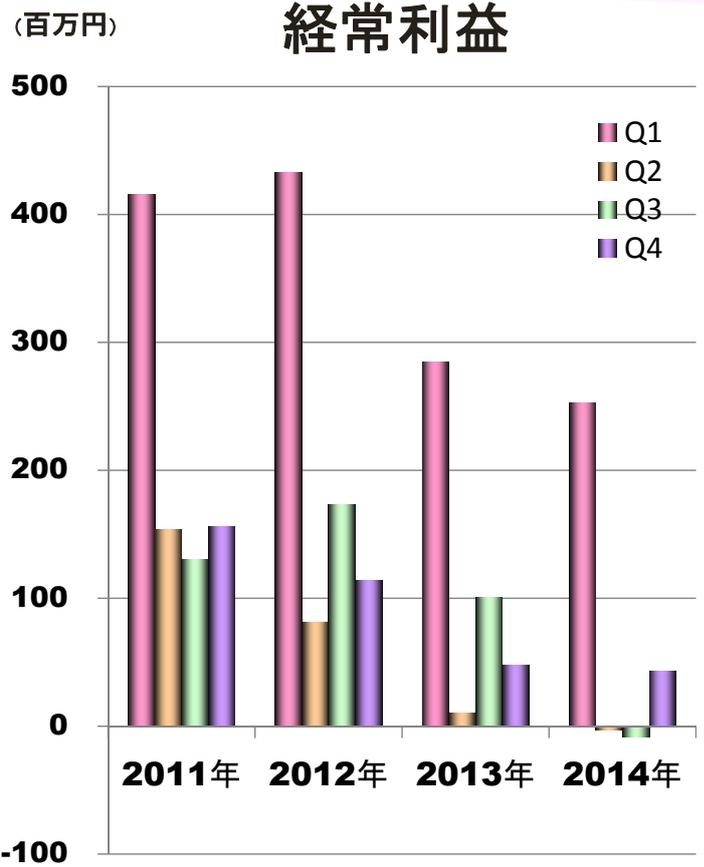
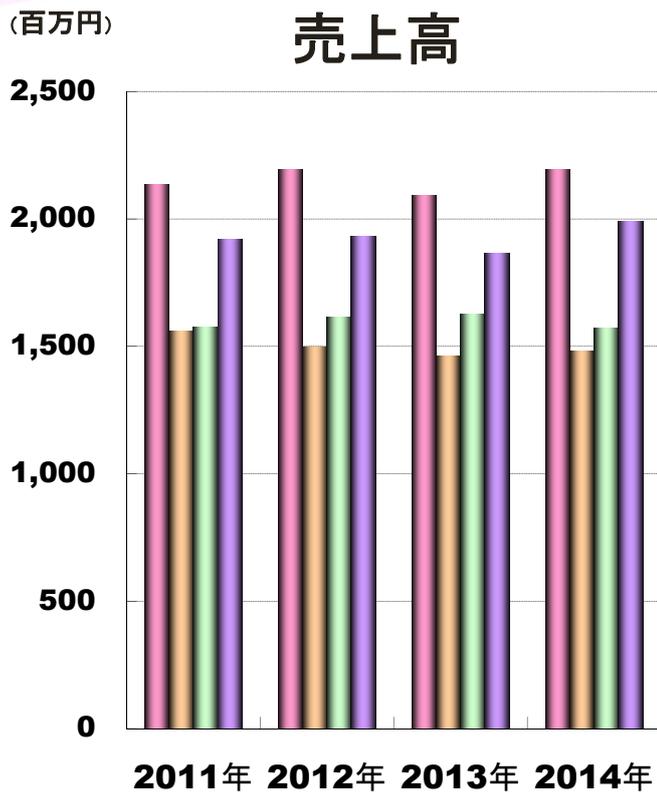
(単位:百万円)

	2013年	2014年	増減額	増減率
	実績	実績		
売上高	7,050	7,235	184	2.6%
売上総利益	2,620	2,424	△196	△7.5% 注1
営業利益	271	162	△109	△40.2%
経常利益	444	285	△159	△35.8% 注2
純利益	313	201	△111	△35.6%

注1 円安による輸入品の仕入原価の増加、競争激化による販売価格の低下

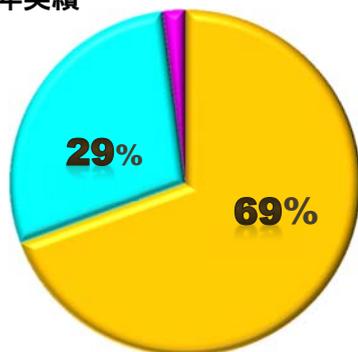
注2 為替予約による為替差益

## 四半期別動向(売上高、経常利益)

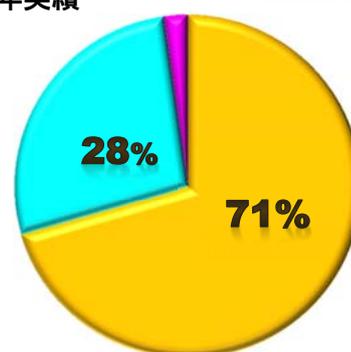


## 商品分類別連結売上高

2013年実績



2014年実績



(単位:百万円)

連結	2013年実績		2014年実績		増減額	増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比		
研究用試薬	4,892	69.4%	5,100	70.5%	208	4.3%
機器	2,012	28.5%	2,001	27.7%	△10	△0.5%
臨床検査薬	145	2.1%	132	1.8%	△13	△9.3%
合計	7,050	100.0%	7,235	100.0%	184	2.6%

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2013年12月末	2014年12月末	増減額	
総資産	8,277	8,161	△116	
流動資産	5,527	5,234	△293	注1
固定資産	2,750	2,927	177	注2
負債合計	1,479	1,628	148	注3
純資産合計	6,797	6,532	△265	
株主資本	5,386	5,469	83	
自己資本比率	76.2%	74.1%		

注1 有価証券の減少、たな卸資産の増加等

注2 投資有価証券等の増加等

注3 未払い法人税の増加等

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2013年 実績	2014年 実績	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	126	297	170	注1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99	△227	△127	注2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126	△122	3	
現金及び現金同等物の増加額	△97	△52	△44	
現金及び現金同等物期末残高	1,435	1,383	△52	

注1 売上げ増加

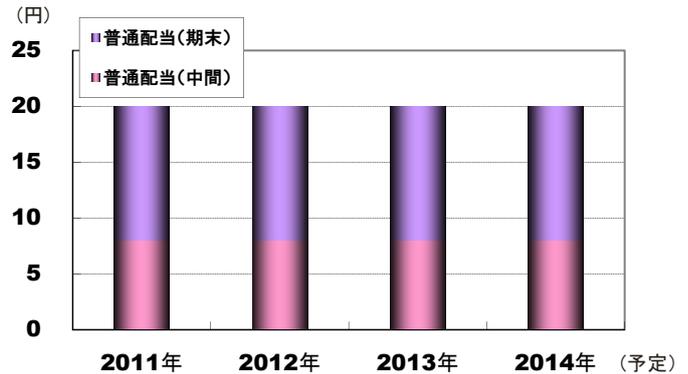
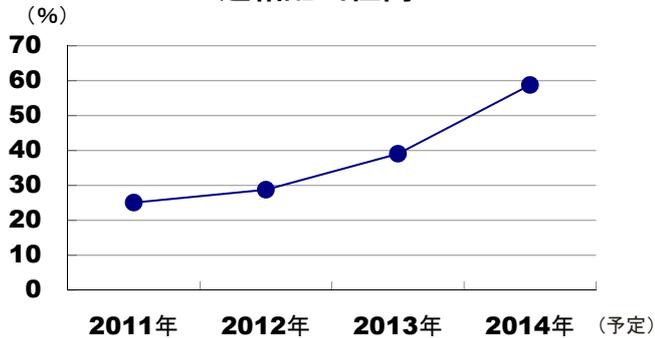
注2 投資有価証券・社債の購入

## 配当について

	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2014年 12月期	8円	12円(予定)	20円(予定)
2013年 12月期	8円	12円	20円
2012年 12月期	8円	12円	20円
2011年 12月期	8円	12円	20円

\* 2013年1月に、1株につき100株の株式分割を行っています。  
1株あたり配当額は、この株式分割を2011年12月期の期首に行ったと仮定して算定しています。

### 連結配当性向

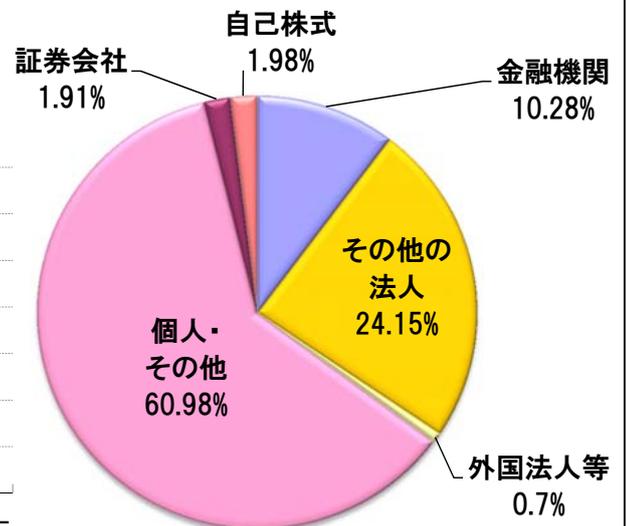
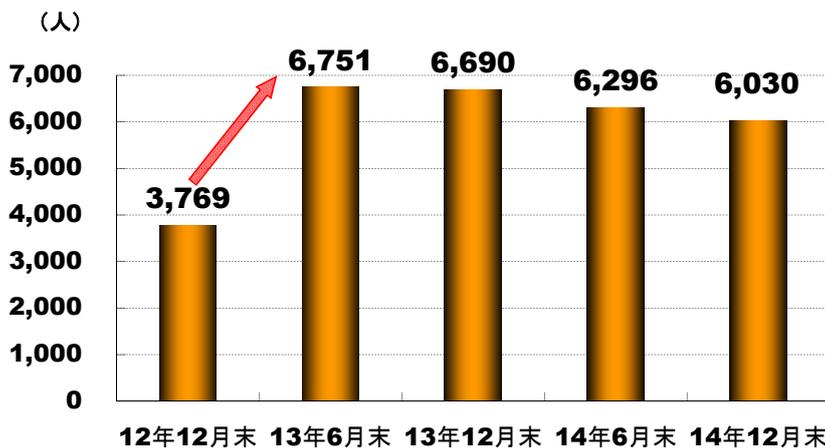


## 株式の状況(2014年12月末現在)

### 株主数の推移

発行可能株式総数	18,361,600株
発行済株式の総数	6,048,000株
自己株式数	120,000株

### 所有者別株式分布状況



## 4. 2015年の取り組み及び業績予想

www.cosmobio.co.jp

### 2014年からの取り組み(3ヶ年計画)

## 「成長と信頼の研究支援会社の実現」

#### 顧客満足度の追求

研究動向にあった商品・サービスの導入、製品開発の強化、顧客の求める情報提供の充実

#### 業容の拡大

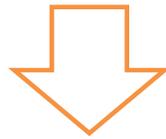
販売、商品開発、業務効率化・強化のための投資  
仕入先との関係強化・提携等の推進

#### 経営基盤の安定化

株主資本、経営資本の安定、事業リスクの低減化(仕入先M&A、為替、法規制等のリスク)

## 2015年への課題

- ・市場が拡大しないなかで売上を確保するための、シェアの確保・拡大
- ・自社ブランド品の導入・販売の効率化
- ・円安環境でも利益を出せる収益構造への改革
- ・顧客満足度の追求に向けた具体策の検討および実行



### 重点目標

- ▶ 市場低迷・円安環境に打ち勝つ!
- ▶ 効率的・合理的な仕事への転換

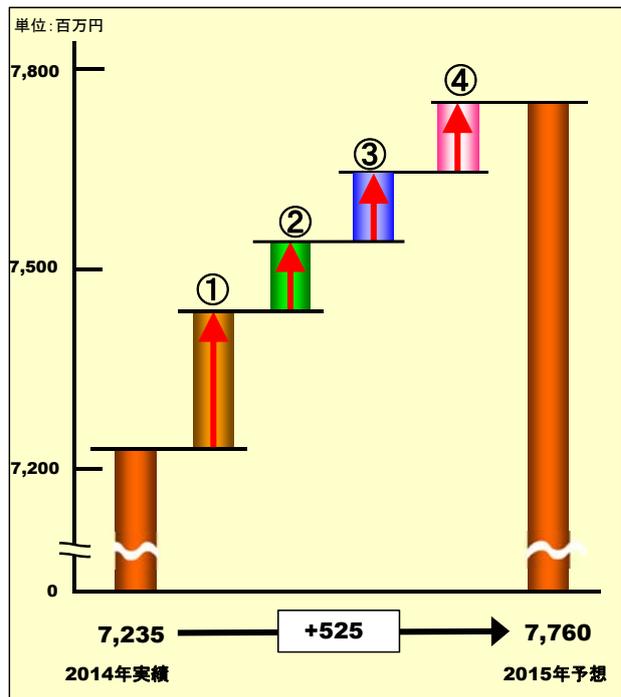
## 2015年の取り組み

### 市場低迷・円安環境に打ち勝つ!!

#### ◎ 売上アップ・利益確保への対策

- ① 適切な商品価格への是正
- ② 顧客満足度の向上
  - ・商品の充実
  - ・情報提供の改善
  - ・在庫施策等
- ③ 自社製品・サービス等高付加価値商品の強化
- ④ 輸出の拡大

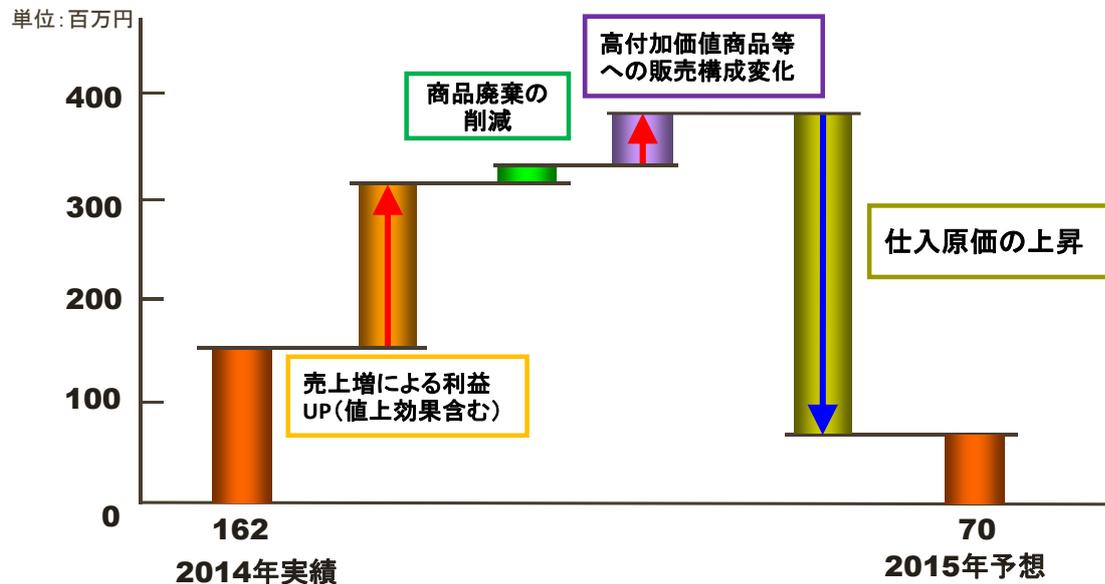
2015年売上予測分析



## 市場低迷・円安環境に打ち勝つ!!

### 2015年営業利益増減予測分析

- ・売上増、商品廃棄の削減、高付加価値製品等への販売構成変化により増益
- ・仕入原価の上昇で大幅ダウン



## 効率的・合理的な仕事への転換

- ① グループ内の情報共有化/業務の効率化を目指し、  
新基幹システムへ移行中
- ② 物流経費・事務経費の削減
- ③ 販管費の組直しによる効率的な使用
- ④ 社員一人一人が環境変化を認識し、  
効率を意識した仕事の取り組みへ

# 2015年12月期の連結業績見通し

(単位:百万円)

	14/12月期 実績	15/12月期 予想	対前年比	
			増減額	増減率
売上高	7,235	7,760	525	7.3%
営業利益	162	70	△92	△56.8%
経常利益	285	200	△84	△30.0%
純利益	201	120	△81	△40.5%
売上高経常利益率	3.9%	2.6%	—	—

平均為替レート	14/12月期 実績	15/12月期 予想
円/USドル	106円	120円

	14/12月期 予定	15/12月期予定 中間	15/12月期予定 期末
配当額	合計 20円	6円	8円

## ご注意

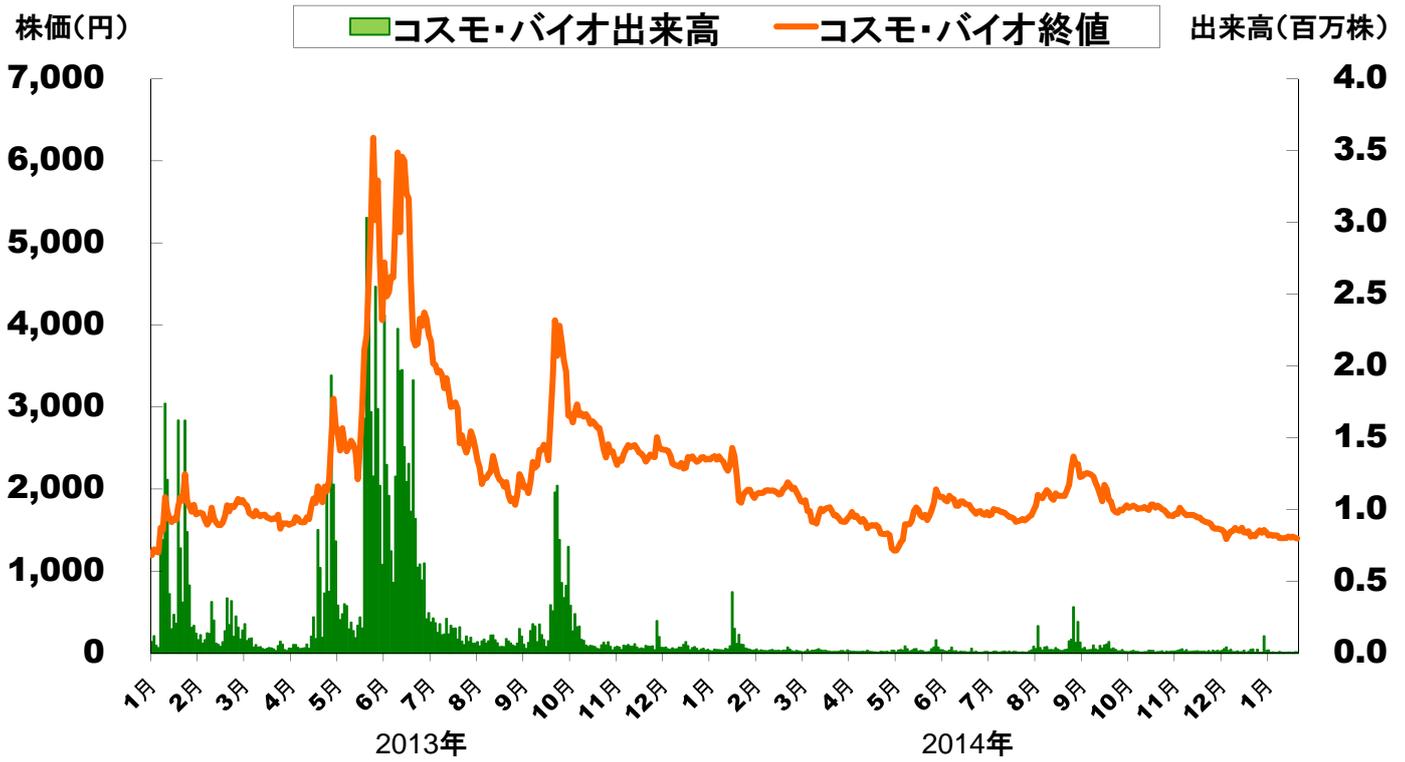
- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》  
コスモ・バイオ株式会社 経営企画室  
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト

<http://www.cosmobio.co.jp/ir>

# 株価推移(2013/1/4~2015/2/16)



**昨日(2月16日)の終値:1,398円**